

「線」だけで描く大空間

木質ラーメン構造が実現 SMB建材

ホールなどを設けた複合施設。施設の用途が広く、有効な空間活用を前提に、可変、流動的な空間の活用が求められた。

施設内の十角三重塔 R 工法が接合金物を木質部材内部に隠す GI で、7 階×約 7・3 階 0 平方メートル、設計は菅野宏史建築設計事務所。

サミット H R 工法は、木造で RC 造や S 造と同じようにラーメン構造を持つ。このため、筋違や耐力面材を設けることなく、柱・梁の線材だけで大空間を実現できる。

同施設では、店舗内でも 9 階の大空間を確保し、ガラス越しに松島湾や同施設庭園を楽しむことができる。

一方、柱・梁の線だけの構成ながら、空間や建物の表情は多彩だ。

松島湾に臨み、婉曲を描く建物デザインも柱・梁だけで表情豊かかならえている。

さらに、サミット H L V L を約 78 立方メートル使用。主な部材断面は、柱が 420 ミリ角、1 階梁が 220 ミリ×280 ミリ、2 階合掌梁が 220 ミリ×500 ミリ。レツルタワーは、270 ミリ×330 ミリの柱、210 ミリ×400、220

昨秋、宮城県松島町にオープンした「松島離宮」は、「線」だけで大空間を描く木造 2 階建て 45 分準耐火構造だ。SMB 建材（東京都、角柄明彦社長）木造建築部が展開する木質 2 方向ラーメン構造「サミット H R 工法」により、面を設けず空間を構成した。

同施設は、松島湾に臨み、博物館や店舗、



柱・梁だけで空間を構成でき、間仕切り部材や面材を自由に選べるのも魅力だ

用。主な部材断面は、柱が 420 ミリ角、1 階梁が 220 ミリ×280 ミリ、2 階合掌梁が 220 ミリ×500 ミリ。レツルタワーは、270 ミリ×330 ミリの柱、210 ミリ×400、220